

平成29年度
赤穂市立赤穂中学校
「学校だより」

荒神台

NO.34
平成29年6月15日発行
文責 校長(平井正彦)

大人の姿は、子どもの手本

6/7 オープンスクールは雨となり、来ていただく側の学校としては、申し訳ない気持ちでした。学校には駐車場がなく、いつも運動場の藤棚や部室前、武道館前にスペースを確保して、駐車していただくなど、ご不便をおかけしています。特に天気が悪い日は、車のタイヤとクツが泥だらけになりますので、校舎へ入る前から、気分が落ち込んでしまう方もいらっしゃるかと思います。



一般市民が利用できる公共施設には、駐車場がありますが、学校は就学年齢の子どもだけが利用できる特定の公共施設のため、駐車場ではなく、運動場があります。

体育の授業や部活動、昼休みの利用など、足を痛めずに安心して走り回れるように、運動場を使用する部活動の生徒たちは、毎日、地面を整地することを忘れません。そのため、車の通行と駐車は、生徒が整備している場所を避け、その周囲のスペースを赤色コーンで区切って使用しています。

ところが、この日、残念なことです。数台の車がサッカー部の活動場所を横切り、くつきりとタイヤの足跡を残して出て行かれました。

きっと、仕事を途中で抜けてきたため、急いで職場に戻ろうとしての事だと思います。

しかし、公のルールを無視し、自分の都合を優先させたこの行為は、生徒の目にどう映った

でしょうか。また、翌日、車が通った跡を懸命に整備する生徒は、どう感じたのでしょうか。



いつの時代も、大人の行為が子どもに与える影響の大きさは変わりません。幼少の頃は、親の言動を批判することなく受け入れ、親と同じ事をしたり、話し方が同じになったりします。また、この頃のことはすべて記憶に残り、それを基準に子どもの性格や言動がつくられていきます。

十歳頃になると、いつも親の言動を観察し、親と同じことをしたり、逆に批判したりするようになります。

親(大人)は、いつも子どもに観察されているのですから、子どもの前では、常にある程度の緊張感を持って接することが必要です。

『大人が変われば、子どもも変わる』と言われるのもそのためです。



急いでいたとしても後の事を考え、運動場の端を通過して門から出ていく大人の姿が、ルールやマナーを大切にしようとして教えられてきた生徒の公徳心を育むのではないのでしょうか。

社会が、すべて原理原則やルールだけで円滑に動くものではありませんが、私たち教職員も含め、大人は子どもの前で、良き手本を示していく責任があるのではないかと思います。

オープンスクール(6/7) ありがとうございました。



■6月7日(水) オープンスクールとして、授業参観や子どもたちの諸活動をご覧いただき、午後は、「ネット、SNS研修会」「学級懇談会」「進路学習会」と、詰め込んだ日程でしたが、多くの方にご参加いただきました。ありがとうございました。

【参加者数】

○オープンスクール 123名
○OPTAネット研修会 66名



学校評議員会 6/14



■学校経営と教育課程等について、ご意見を伺い、学校運営に生かします。6月と2月に評議員会を開催します。〔平成29年度評議員(敬称略)〕

- 清水 政幸(赤穂地区自治会連合会長)
- 勝田 三好(城西地区自治会連合会長)
- 釜増 利彦(赤穂保護区保護司)
- 松村 裕子(赤穂・城西地区主任児童委員)
- 吉永 英雄(赤穂市青少年育成推進委員協議会副会長)
- 金井 貴子(赤穂防災士の会会長)
- 高木 稔之(赤穂中学校PTA会長)
- 漆崎 泉(赤穂中学校PTA副会長)

表彰と記録

＜柔道＞ 赤穂市民総合体育祭(1年生の部)
赤穂市民総合体育館武道場 6/3
(個人女子の部) 1位 竹内 絢音

＜ソフトテニス＞

赤穂市中学校対抗戦
赤穂市城南緑地公園テニスコート 6/3
(団体男子) 2位
中村 謙信、清水 良将
市瀬 大聖、後藤 諒成
石黒 誠也、中元 亮太
(団体女子) 1位
桃井 璃子、真殿 涼子
畑中 望愛、木下 茉凜
岸田 綾佳、平山 瑠依



＜水泳競技＞

第12回淡路島交流水泳競技大会 
南あわじ市温水プール 5/28
(男子) 小川 聖雄 400m自由形 2位
溝口 晃太 50m背泳ぎ 3位
100m背泳ぎ 2位
田淵 康介 50m平泳ぎ 2位
是兼 直哉 50m背泳ぎ 2位
(女子) 高坂仁衣奈 50m平泳ぎ 3位
河村 凜 50m自由形 1位
100m自由形 1位
池田 美憂 100m背泳ぎ 1位
200mメドレーリレー 3位
池田 美憂、河村 凜
高坂仁衣奈、津野くらら

お知らせ

■赤穂市「良い歯のコンクール」出場!!
＜赤穂中学校代表＞吉光 優揮(3-3)
船曳 夏音(3-4)

1年生HAP(ひょうご冒険教育)

嬉野台生涯教育センター 6/10.11



「心・技・体」をつくるための野外活動でしたが、2日間天気にも恵まれ、みんな元気に過ごせたことが一番の収穫でした。

【心をつくる】仲間を励まし、仲間を信じる心とあきらめずに挑戦する心をつくりました。特に高さ7mからのジャンプや棒渡りでは、必死で応援し励ましました。挑戦し成功したときに、全員が自分のことのように喜ぶ姿に、私は感動しました。さらに、垂直の高い壁をよじ登り、大縄では団結と技を習得しました。

【体をつくる】野外で体力と筋力を使い続けた2日間でしたが、最後まで全員が挑戦できました。毎日の「ヘルスロード登校」の効果でしょうか。本当に素晴らしかったです。

しかし、自分の心の弱さに負け、自分勝手な行動をしたり、礼儀やマナーを大切にできなかったことも「課題」として残りました。

さあ、「学んだことを生かす」のは、これからです。

- ①自分が学んだことをはっきりさせる。
- ②自分は何をするのかを決める。
- ③本当に実行する。

これこそがJRC態度目標の「気づき・考え・実行する」です。君たちは必ずできる、そう信じています。
《教頭：小野晴也》

兵庫県中学校総合体育大会

■本年度の県総体は西播地区が担当します。
■赤穂市を会場とする種目

- ・総合開会式 7/26 (赤穂市総合体育館)
- ・卓球 7/26.27 (赤穂市総合体育館)
- ・野球 7/26.27 (城南緑地公園野球場)
- ・ソフトテニス 7/26.27 (赤穂海浜公園)
- ・柔道 7/29.30 (赤穂市総合体育館)

■赤穂市以外の会場

- ・陸上競技 7/26.27 (加古川運動公園)
- ・駅伝 11/18 (奥神鍋周回コース)
- ・バレーボール女子 7/26 (龍野西中学校)
- ・バスケットボール男子 7/26.27 (新宮スポーツセンター)
- ・サッカー 7/26.27 (播磨光都サッカー場)
- ・剣道 7/30.31 (県立武道館)
- ・水泳競技 7/27.28 (神戸P.I)

■大会スローガン

**努力は自信 みなぎる思い
友よ集まれ ここ西播へ**

〔最優秀賞：赤穂中学校2年 中村 壮佑〕

■総合開会式 司会(男1、女1)

- ・赤穂中学校の生徒が担当します。大役ですが、頑張ろう!!(3年生人選中)

□赤穂市総体(市内大会)

- ・基準日 7/1,2
- ・基準日以外：陸上競技 6/24：駅伝 9/30

□西播地区総体(西播大会)

- ・基準日 7/15,16
- ・基準日以外：水泳競技 7/9

